

平成 2 0 年度  
**事業報告書**  
- 昭和大学年報 -

**【抜 粋】**

学校法人 昭 和 大 学

## はじめに

平成 20 年度学校法人昭和大学事業報告書―昭和大学年報―をここに上梓いたします。

本学は、建学の精神である「至誠一貫」に基づき、“まごころ”を尽くし、質の高い医療人の育成を行うことを理念に、教育・研究・診療のそれぞれにおいて社会的責務を果たすべく法人運営に努めてまいりました。

私立大学を取り巻く環境が年々厳しくなる中、盤石な体制を構築することを目的として、理事会内に大学・病院活性化推進委員会を設置しておりますが、平成 20 年度も各種のプロジェクトを立ち上げ、その答申を基に種々の課題に取り組んでまいりました。

特記すべきこととして、財団法人日本高等教育評価機構の「認証評価」を受審したことが挙げられます。平成 20 年度は私立大学 58 校が受審し、うち 5 大学が認定保留になりましたが、本学は自己評価報告書などの評価、実地調査での評価を通し、同評価機構の定める評価基準のすべてにおいて高く評価され、このたび「大学評価基準を満たしている」との認定をいただきました。

この「認定」に甘んずることなく、改善事項については早急に是正する措置を講じ、本学のさらなる発展・向上に向けて、引き続き教育、研究、医療、社会貢献や組織運営等に一層の努力を重ねてまいります。

平成 20 年度は本学創立 80 周年の節目にあたり、さまざまな課題に取り組みながら、将来を見据えた事業を展開しました。本報告書が本学の教育、研究を改善する足掛りとなることを期待したいと思います。皆様には忌憚のないご意見やご批評をいただければ幸いに存じます。

## 1. 事業の概要

### 1. 教育・研究の充実

#### 【昭和大学・昭和大学大学院】

平成 20 年度は、昭和大学全体として学部の枠を超えて、3 年次に対する 4 学部横断の問題解決型少人数教育を旗の台・横浜両キャンパスにて初めて実施し、チーム医療の有用性を実感する参加型学習を推進した。また、本学の「教育力」のいっそうの充実に目的として、各学部富士吉田教育部の教育推進室を中心に教育者のファカルティ ディベロップメント(FD)を開催するとともに、全寮制初年次教育の充実に期し、富士吉田教育部を挙げてワークショップを実施した。一方、学生支援の一環として全学的な「キャリア支援室」を設置し、学生の進路・就職活動を応援する体制整備に努めた。

優秀な学生を確保するため、平成 20 年度も受験生相談体制の強化と、地方入試、オープンキャンパス、進学相談会、高校訪問などを実施し、幅広い大学広報、入試広報活動の展開を通じて、受験生のみならず社会全体への本学の知名度向上を図った。

教育活動では他大学との連携にも力を注ぎ、文部科学省「戦略的大学連携支援事業」では医学・歯学両学部が他大学とともに選定された。

大学院の充実については、大学院生の経済的支援などを目的に、リサーチ・アシスタント(RA)制度を導入した。また、独創的な研究者等を育成する一環として「大学院アドミッションポリシー」を制定し受験生に周知した。一方、大学として必要な組織倫理を確立するため、「研究活動上の不正行為を防止するための基本指針」などを制定した。

なお、特筆すべきこととして、平成 20 年度は日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、本学の教育研究活動その他の積極的な取り組みが高く評価され、認定された。

#### 1-1 医学部・医学研究科

##### 1. 教育

医学部では、3年次において地域医療の現場に触れ、その重要性を学ぶために「地域医療実習」を新たなカリキュラムとして取り入れた。また医師を目指す者としての自覚を涵養するために、5年次では「白衣授与式」を実施した。これらにより実習カリキュラムが体系化された。

医学研究科では、全教員参加型の大学院教育の実施に向けて、シラバスを充実させた。さらに、英語論文作成のワークショップを開催し論文指導を強化した。

##### 2. 研究

医学研究科では、質の高い研究を行うため、大学院生や研究生に対しきめ細やかな研究指導を行った。また、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、「脳幹による生体システム調節の研究拠点」が選定され、本学脳幹研究センターが中心的に研究を行うこととなった。

## 1. 事業の概要

### 3. 卒後教育

医師臨床研修制度の必修化から4年が経過し、引き続き研修指導體制の充実に努めた。初期臨床研修医の志願者は150人(うち他大学出身42人)、マッチ数は69人(うち他大学出身15人)、マッチ率は78%であった。なお、後期臨床研修医の採用者はなかった。

## 1-2 歯学部・歯学研究科

### 1. 教育

歯学部では、臨床・卒後教育の充実に努めるため、平成19年度に設置した歯科医学教育推進室を整備し、カリキュラムの検証、教育システムおよび教育方法などの改善を推進した。具体的には、従来のコースを統合して、「生命に直結した口腔機能を扱うことにより命を救う歯科医師」を目指す「オーラルフィジシャン(口腔医)コース」を設定した。さらに次年度に備えて、「臨床実習終了時の客観的スキル評価」「コミュニケーション教育の充実」のためのワーキンググループを立ち上げた。また、問題解決型少人数教育を引き続き実施するとともに、教員の教育力増進のためのワークショップを鋭意開催した。

歯学研究科では、世界水準の先端的歯学研究を推進する能力を有する研究者を養成するために、海外の大学との間で、学部間協定を締結した。すでに学部間協定を締結している米国、中国、ドイツの複数の大学とも引き続き交流を実施した。また、大学院生の海外における研究発表を支援した。

### 2. 研究

生命科学領域の専門分野において競争力のある研究者の養成と、リサーチセンスを有する歯学高度専門職医療人の育成をバランスよく提供するために、歯学研究科ではハイテクリサーチ・センター整備事業ならびに戦略的研究基盤形成支援事業を基軸として、講座の枠組みを越えた研究体制を推進した。

### 3. 卒後教育

臨床研修歯科医の養成に係る研修プログラムを改善した。さらに、臨床研修指導歯科医ワークショップを開催して研修指導體制の充実に努めた。

## 1-3 薬学部・薬学研究科

### 1. 教育

6年制薬学教育は3年目を迎え、チュートリアルを積極的に取り入れた。特に1年次および3年次には4学部合同で問題解決型学習(PBL)を企画した。また、オリジナル科目を多く開講し、学生の多様なニーズに対応した。

薬学研究科では、平成19年度に採択された大学院GPの「薬剤師の薬学的臨床研究能力養成プログラム」に沿い、薬学的臨床研究スキルアップコースに新たに1科目を開講し、薬学的臨床研究病院コースおよび薬学的臨床研究地域コースでは、それぞれ2科目を開講した。新規開講科目は、10科目となった。

### 2. 研究

文部科学省大学院GP「薬剤師のための薬学的臨床研究能力養成プログラム」につい

て、新たに設立された「薬学的臨床研究・教育センター」を中心にセミナー、研修会、シンポジウムなどを開催した。また、文部科学省ハイテクリサーチ・センター整備事業「薬物・毒物中毒の先端的研究の基盤構築とトキシコインフォマティクスに基づく治療への応用」は4年目を迎え、研究成果をシンポジウムで発表した。

さらに、国際交流について、韓国の嶺南大学に続き、タイのマハラサカム大学と学術・研究に関する協定を締結した。

#### 1-4 保健医療学部

##### 1. 教育

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成21年度入学者から適用される保健医療学部の新カリキュラムを作成した。また、保健医療学教育推進室を設置し、教育・研究の向上を図った。さらに、保健医療学教育者のためのワークショップを開催し、FDを積極的に推進した。

保健医療学研究科では、完成年度を迎え、高い専門性に基づく臨床実践および臨床研究でリーダーシップを発揮し、チーム医療を推進できる人材を養成し、10人の修士を輩出した。

##### 2. 研究

教員の研究を推進し、研究活動の充実を図り、外部の研究費獲得に努めた。また学科の枠を越える研究グループの活性化に向け、講演を含む研究活動報告会を開催し、昭和大学保健医療学雑誌を発行して学内外に広報した。

##### 3. その他

高校・予備校訪問の地域拡大および回数増加、模擬授業の実施など進学説明会の充実を図り、優秀な学生の確保に努めた。

#### 1-5 富士吉田教育部

##### 1. 教育

4学部全寮制初年次教育システムの質の向上を図るため、体験学習、学部横断型少人数教育などPBL教育を引き続き実践した。自ら学ぶ姿勢、グループ学習の実践、コミュニケーション能力の向上などを目指し、問題点を改善した。また、富士吉田教育部教育推進室を中心にカリキュラム検討委員会を設置し、学習の動機付け、学習方法、レポートの書き方、コミュニケーションのとり方など、初年次教育の充実を図るため、既存カリキュラムの見直しを行った。

##### 2. その他

教員のFDを平成20年度も開催した。実際の教育現場にフィードバックできる実践的なワークショップとするため、初年次教育と専門領域につながる基礎学力などについて検討した。

#### 1-6 ホームカミングデーの実施

母校と校友の連携を強め、校友同士の親睦を図ることを目的に、第1回昭和大学ホームカミングデーを10月12日に旗の台キャンパスで、第1回昭和大学保健医療学部ホームカ

## 1. 事業の概要

ミングデーを11月2日に横浜キャンパスでそれぞれ実施した。同窓会各校友の積極的な協力により、200人を上回る卒業生が参加した。在学生と直接触れ合う機会も設けられ、卒業生にとって懐かしく楽しい、意義のある1日となった。

### 1-7 キャリア支援室事務室の新設

平成20年4月にキャリア支援室事務室を新設した。当初は、学生部事務室内で業務を行っていたが、平成21年2月に新たなキャリア支援室・閲覧室を大学10号館1階に設置した。この支援室・閲覧室は、個別相談・閲覧コーナーや求人検索用PCを備えており、在学生・卒業生への進路・就職支援の拠点として機能している。さらに、支援室運営の基本となる「キャリア支援室運営規程」を制定し、支援室長および各学部・部署から委員を選出して運営委員会を組織した。これにより、全学を挙げてのキャリア支援体制が整った。

### 1-8 教務部情報管理統一システム導入

4学部の学籍管理、成績・履修管理の一元化を目指し、学内各キャンパスをネットワークで結ぶコンピュータシステムを4カ年計画で構築してきた。4年目の平成20年度は、学生サービスの向上のため、大学WEBポータルサイトシステムを稼働させた。横浜、富士吉田の両キャンパスでもこのシステム開発を行い、平成21年度から本稼働する予定になっている。これらが完成すれば、学生情報の管理が統一されるとともに、休講情報、講義変更、時間割などの情報が適宜取得でき、指導担任教員による学生指導の質の向上が期待できる。

### 1-9 教育研究施設及び設備の整備

#### 1. 富士吉田校舎教育施設整備

富士吉田校舎教育施設整備事業として、竣工以来24年が経過し老朽化の進んだ4号館屋上の防水更新工事を実施した。

#### 2. 鏡視下手術トレーニングセンター

平成21年度の昭和大学・山王台内視鏡下手術トレーニングセンター（仮称）オープンに向けて、研修を指導できる立場にある医師を対象に講習会を開催した。

#### 3. 旗の台キャンパス教室等の整備

教育環境改善のため4号館を中心に改修工事を実施した。特に、4号館1～6階すべてのホールに空調機を新設し、経年劣化した600号教室の単独空調機を更新するなど学生の学習環境の向上に努めた。

また、50年記念館3階の同窓会本部（医学部）の1室を改修し、4学部共有の会議室とした。

#### 4. 横浜キャンパス施設整備

保健医療学部においても、PBL教育実施に必要な小教室として使用できるよう、既設の中規模教室2室に稼働式間仕切りを設置した。これにより、小教室10室が確保され、学部横断型少人数教育を支障なく実施することができた。また、校舎内のイントラネット整備、情報コンセントの設置も同時に実施した。

長津田総合グランド施設の改修として、体育館耐震診断、体育館給水設備の更新、体

育館サッシ網戸の更新工事を実施した。さらに球技場の照明を増設し学生課外活動の安全性を確保した。

5 . 総合情報管理センター

1 ) 基幹ネットワーク装置整備

学内ネットワークを支える基幹装置系については、ネットワーク利用拡大に伴う相対的な性能低下、経年使用による故障発生確率の増加、単一系の機器構成によるネットワーク全面的停止のリスクなどが解決すべき課題となっていた。そのため機器の更新を行うとともに、装置故障発生時においてもネットワークを停止させない冗長化(二重化)構成への変更を行った。

2 ) 旗の台キャンパスネットワーク環境整備

共用試験(CBT)実施環境整備のため、4号館600号教室のネットワーク化、サーバーなどの機器設置、11号館との専用線敷設を行った。さらに4学部合同PBL実施に対応するため、5号館実習室の無線LAN環境設備を整備した。

また、4号館各階の学内ネットワーク化、図書館内の無線LAN構成変更、校舎中庭での利用環境構築を行うとともに、これまで異なっていた接続方法の統一化を図った。

## 1. 事業の概要

## 2. 附属学校

### 2-1 医学部附属看護専門学校

#### 1. 学生の受け入れ

インターネットを活用して学校の広報活動を行うとともに、看護専門学校の少ない東北地方を重点に進路指導相談会および高校訪問を実施した。平成 21 年度入試の志願者数は前年度より 133 人多い 538 人であった。入学者 113 人のうち 59 人が地方出身者であった。

#### 2. 教育

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、カリキュラムを変更した。看護実践に必要な知識・技術に加え職業倫理観や責任感、豊かな人間性を意識した教育内容とした。平成 21 年度入学生からの適用となる。

また、看護実践能力を高めるため、1 年次と卒業時のみに行っていた看護技術の習得状況判定を各学年末に行った。

#### 3. その他

医学部との協働で「潜在看護職者の就業準備教育」を実施した。14 人が受講し、8 人が就業、1 人が就業準備中である。うち 5 人は本学附属病院に就業した。

### 2-2 診療放射線専門学校

#### 1. 学生の受け入れ

平成 20 年 4 月に第 8 回生 22 人（男子 18 人、女子 4 人）が入学し、学生総数は 76 人となった。

また、平成 20 年 9 月の理事会決定に従い、平成 21 年度からの学生募集停止届を関係各機関に提出した。

#### 2. 教育

適切な学習指導に努めるとともに、個人の学力の向上と学校全体のレベルアップを図った。

#### 3. その他

診療放射線技師養成所指導要領に基づく教育上必要な機械器具として、トレーニングファントム TMP 型を購入した。

### 3 . 診療施設

#### 3-1 昭和大学病院

医療の質の向上および医療安全の推進のため、病院長をはじめとする幹部職員、各委員による「管理者院内巡視」を継続して行い、施設・備品のハード面および診療記録の整備、ソフト面の質の向上に努めた。さらに、それを実践するための経済的な基盤の整備ならびに施設や機器備品の更新を行った。

運営面では、看護業務のうち、間接的な業務となる作業を軽減し「入院基本料7対1看護」を堅持し、クリニカルパスの充実、在院日数の短縮を図った。また、昨年度に引き続き当院および附属東病院の機能分化や連携の強化を図るとともに、人材育成では病院機能評価 Ver6 のトライアル受審により各部署の自己評価による現状分析を行った。その審査結果を確認することでスキルアップを図った。

また、医療材料費用の削減、医薬品費の削減を最重要課題として、各種委員会指導のもと積極的な削減策を実施した。

#### 3-2 昭和大学病院附属東病院

治療内容充実の観点から、機器および施設の整備を行った。眼科機器のうち、老朽化した白内障手術装置（レガシー）を更新し、インフィニティビジョンシステムを導入した。これにより手術精度の向上が図られた。

また、ペインクリニックの移転に伴い、地階に検査室を整備した。

#### 3-3 藤が丘病院

リハビリテーション病院との診療における機能連携の推進と合理的な病床稼働を目的として、各科のベッド数の配分を分析し、科に属さない混合ベッドを拡大し医療単価の増額と病棟稼働率の増大を図った。さらに新しいパスの導入を促進し、医療連携の推進、ならびに総合相談センターを新たに開設し、患者サービスの向上を図った。

7月より新しいSPD(物品管理構築支援システム)を導入し、より効率的な医療材料費、薬品費の削減を目指した。また、薬局注射薬品室に自動注射払出システムを導入し医薬品使用の安全確保と薬剤・看護業務の軽減と、検査関連の見直し検討を行った。さらに、都市ガスシステムを導入し、熱源燃料を灯油から都市ガスに変更することで光熱費の削減を図った。人件費の削減を目的に、リハビリテーション病院との内部組織統合を促進し、管財・営繕・経理・人事業務などを統合した。

#### 3-4 藤が丘リハビリテーション病院

藤が丘病院との一体運営を強化するため、会議や研修会の合同開催を推進し、予算、決算および稼働統計を連結管理とし、平成20年度は科別収支状況および部門別収支状況を連結で評価する体制の整備を開始した。

## 1. 事業の概要

### 3-5 横浜市北部病院

電子カルテシステム更新 3 年継続事業の最終年度を迎え、各部門システムの更新を行った。

また、医療連携の強化の観点から、都筑区医師会との連携協議会に加え 4 区（都筑・青葉・緑・港北）地域医療連携協議会を立ち上げた。

日本病院機能評価機構更新審査を受審し、条件付き認定書が交付された。また、平均在院日数の短縮に伴う看護業務量の増加と安全管理の強化のため、「入院基本料 10 対 1 看護」から「7 対 1 看護」に移行した。

平成 20 年度横浜市病床整備計画に伴い、「出産を含む周産期病床」として 18 床の配分を受けた。

### 3-6 豊洲病院

地域の中核病院として医療ニーズに応えるべく、泌尿器科の外来診療日の拡充および退院後の外来患者一部への看護師受持担当制の導入など、診療体制の充実および患者サービスの向上に努めた。また、紹介元医療機関への早期返信を目的とした返書管理システムの導入と、病院ホームページの刷新による各科診療案内の充実など効率的な地域医療連携に努めた。管理面においては、中央検査システムおよび麻酔ワークステーションの更新など医療の質と安全確保の向上に努めた。

### 3-7 烏山病院

精神科救急入院料算定病棟の施設基準を満たすため、入院棟 A3 病棟の改修工事を行い、実績算定を開始した。その結果、施設設備、人員配置、患者受入状況などすべての基準を達成し、平成 21 年 2 月より救急入院料算定を開始した。また、中央棟 C4 病棟を特別病室に改修する工事を平成 21 年 1 月末に着手し、3 月末に完成、平成 21 年 4 月から患者の受け入れを開始する。

リハビリテーションセンターにおいては、うつ病の就労支援プログラムを開始した。また、発達障害患者向けのデイケア（水曜クラブ、木曜クラブ）および集団通院精神療法（土曜クラブ）を開設し、新たな患者層のニーズに応える体制を整えた。

さらに、MRI を整備した脳画像研究センターを開設し、当該センターが科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業(CREST)として採択された。

### 3-8 豊洲クリニック

診療部門において、平成 20 年 10 月より小児科で超音波検査を実施し、診療内容の充実を図った。

また、近隣企業などへの訪問、ホームページのリニューアルや携帯電話用ホームページの公開による広報活動を強化した。

### 3-9 歯科病院

近隣歯科医師会、歯学部同窓会との医療連携強化、医療連携に関する窓口の一本化、歯科病院ホームページの刷新などにより、紹介患者数の確保、患者数増加に努めた。また、

インプラント科、美容歯科、お口の健康外来などの特殊外来部門と一般歯科治療との連携を機能的に活用し、増収を図った。

経費削減として業務内容を見直し、業務委託による人件費の削減、医療材料の品目数の絞り込みなど支出を削減した。

## 4. 財政基盤の充実と強化

### 4-1 活性化推進

平成6年度に学内に設置した活性化推進委員会は、大学組織運営の見直しや教育研究活動の改善・検証、冗費節約を目的として活動を行っている。

平成20年度は、大学活性化推進委員会として3つのプロジェクトを設置し、保健医療学研究向上、歯学教育検証、薬学教育検証について検討を行った。また、病院活性化推進として9つのプロジェクトを設置し、地域医療連携推進、診療科のセンター化推進、医療機器等の中長期購入計画策定、施設および設備保守の中長期計画策定、手術室運用合理化、ER運用、看護師寮のあり方、診療ブース運用見直し、総合相談センターのあり方について検討を行った。そして、プロジェクトによる検討の結果を具体化し、理事会へ改善案の答申を行って活性化推進に努めた。

### 4-2 昭和大学創立80周年記念事業

本学は創立80周年を迎え、記念事業として「創立80周年記念誌」を刊行した。また、平成20年11月15日には、学内関係者および学外からの招待者を迎え、創立80周年記念式典を上條講堂で挙行するとともに、同日グランドプリンスホテル新高輪において記念祝賀会を開催した。さらに、記念事業の一環として、第1回ホームカミングデーを実施し、校友との連携強化ならびに校友同士の親睦を図った。

### 4-3 昭和大学創立80周年記念事業募金

本事業募金は、創立80周年記念事業の一環として富士吉田校舎教育施設整備計画〔第1期-2〕建設工事として男子寮の増設、体育館の新設を実施するための募金活動を行った。平成20年度は、621件、1億212万5160円の篤志を受けることができた。

施設整備工事には、建設費として巨額の資金が必要となることから、引き続き募金活動を展開し財源の確保に努める。

### 4-4 旗の台校舎Cサイト建設基本調査

平成20年度は、Cサイト学務実務者委員会を10回にわたり開催し、また洗足キャンパス現状調査、臨床系共同実験室利用状況調査、実験機器の共有化などの建設基本調査を行う中で、仮建替計画、仮配置計画などについて検討した。

### 4-5 昭和大学附属豊洲病院再整備計画準備

本学では、老朽化した豊洲病院の再整備を念頭に、大規模な再開発が進行している豊洲地区の医療ニーズに応えるべく、豊洲病院のあり方について検討を重ねてきたが、江東区南部地域における病院整備計画が江東区長より発表され、本学としてもこれに参画する意向で、江東区、東京都、および江東区医師会との意見交換を適宜行った。

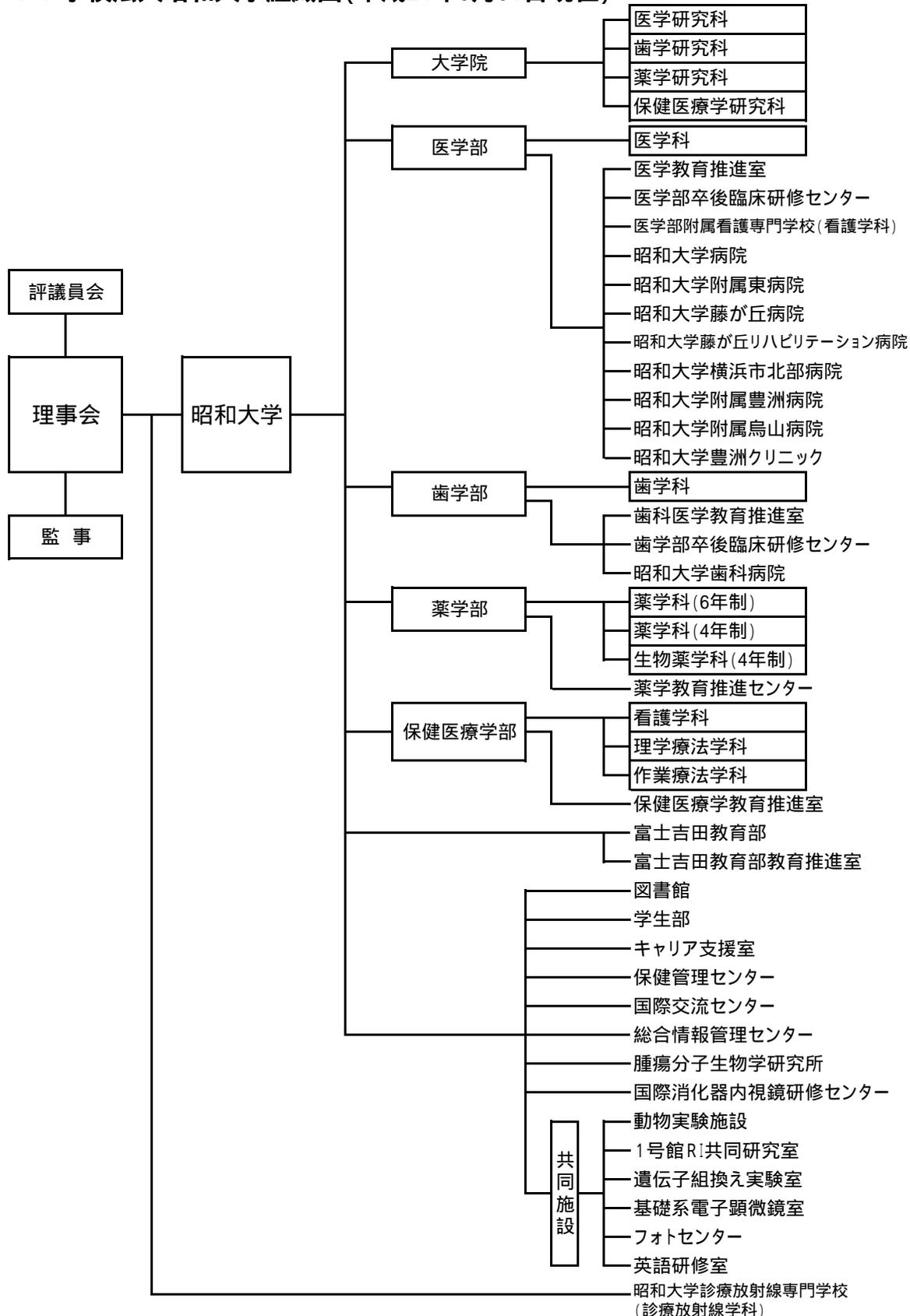
#### 4-6 法人近隣地買収計画

本法人の将来のさまざまな事業活動および可能性を考慮して、平成 20 年度も本法人近隣地の買収を計画的に実施した。

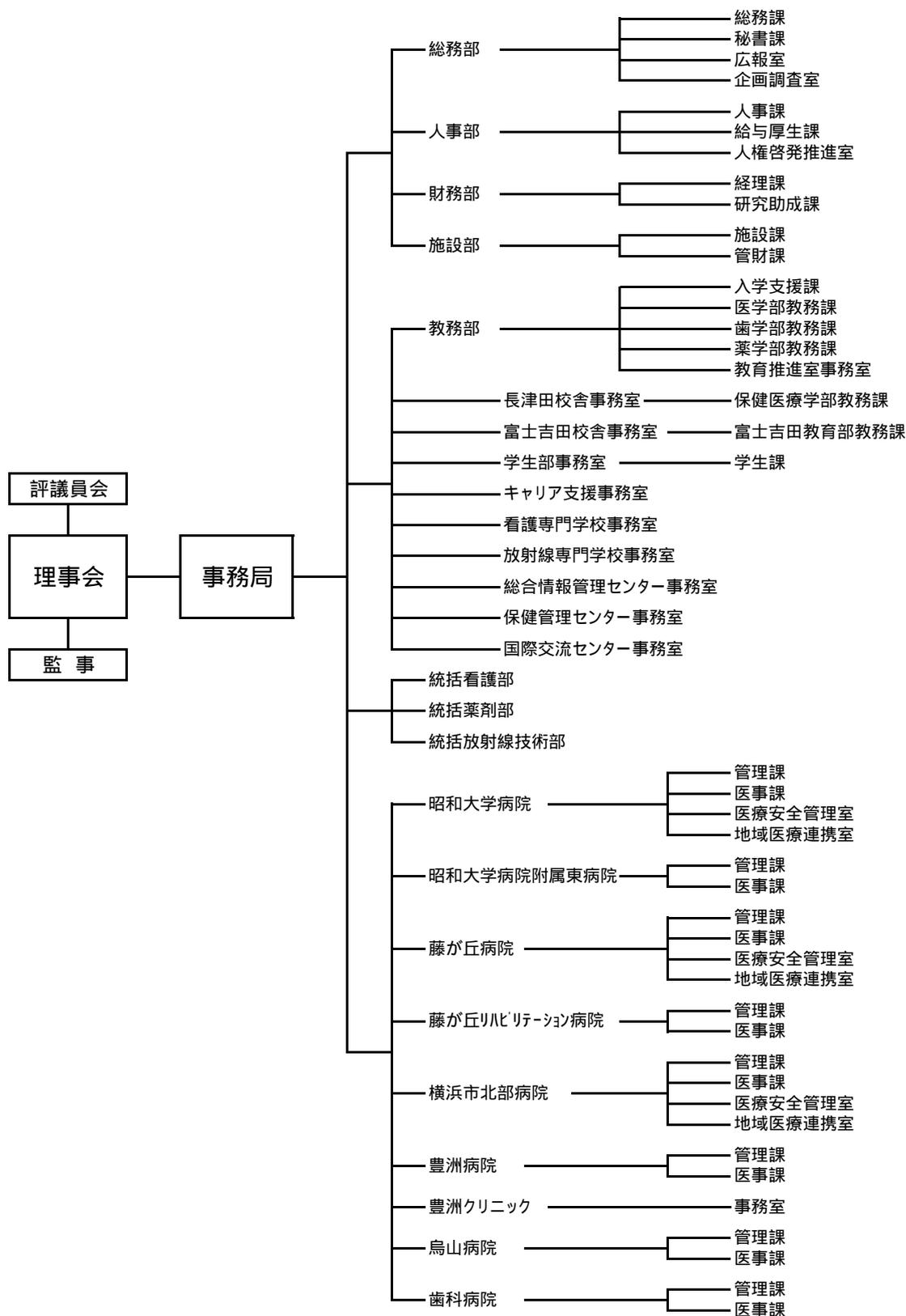
## 2. 法人の概要

### 1. 組織図

#### 1-1 学校法人昭和大学組織図(平成21年3月31日現在)



1-2 学校法人昭和大学事務組織図(平成21年3月31日現在)



## 2. 法人の概要

### 2. 役員・評議員・教職員の概要

#### 1. 役員

定員 理事：10人以上13人以内  
監事：3人

現員 理事：13人  
監事：3人

役職	役員名	寄附行為
理事長	小口 勝司	第9条第1項第3号該当 第6条第1項該当
理事	細山田 明義	第9条第1項第1号該当
	安原 一	第9条第1項第2号該当
	宮崎 隆	〃
	山元 俊憲	〃
	副島 和彦	〃
	飯島 正文	第9条第1項第3号該当
	小出 良平	〃
	片桐 敬	〃
	佐藤 彰	第9条第1項第4号該当
	吉田 英機	〃
	田口 進	〃
久光 正	〃	
監事	吉原 政雄	第10条第1項該当
	宮坂 貞	〃
	甘利 光正	〃

(平成21年3月31日現在)

## 2. 評議員

定員 45人以上68人以内 現員 66人

寄附行為第20条第2項第1号			寄附行為第20条第2項第2号		
小口 勝司	山田 庄司	川澄 正一	吉田 文英		
本間 生夫	立川 哲彦	大祢 廣伸	湯藤 進		
安原 一	久光 久	酒井 朗	山藤 武久		
五味 邦英	吉田 武美	安井 昭	塩原 仁子		
飯島 正文	中村 和郎	甲斐 祥生	築野 義則		
小出 良平	戸部 敬	筒井 廣明	江川 清		
諸星 利男	喜多村 得也	杉崎 徹三	徳岡 敏一		
有賀 徹	伊藤 良作	中島 宏昭	飯島 裕之		
宮岡 英世	高木 利一	米山 啓一郎	大谷 俊一		
足立 満	市川 幾恵	浅賀 英世			
安本 和正	上野 洋一	田中 一正			
岡井 崇	守屋 明俊	中田 輝夫			
寄附行為第20条第2項第3号			寄附行為第20条第2項第4号		
細山田 明義			宮崎 隆	松川 正明	
			山元 俊憲	田口 進	
			副島 和彦	加藤 進昌	
			真田 裕	岡野 友宏	
			嶽山 陽一		
寄附行為第20条第2項第5号			寄附行為第20条第2項第6号		
石井 暢	後藤 延一	川上 保雄			
鬼塚 卓彌	芳根 鋭蔵	上條 千鶴子			
高場 利博	塩川 朋義	佐藤 彰			
片桐 敬		松田 厚恵			

(平成21年3月31日現在)

## 3. 名誉学長

川上 保雄

## 4. 名誉院長・名誉総看護婦長・名誉看護部長

名誉院長	名誉総看護婦長	名誉看護部長
竹村 堅次 黒川 高秀	其原 初枝 小柳 ヒサエ	松田 厚恵

## 2. 法人の概要

## 5. 名誉教授

川上 保雄 小池 重夫 石井 暢 市河 三太 小松 信彦 金庭 延慶 松井 将 今村 一男 猪口 清一郎 和久本 貞雄 中村 泰治 河西 信彦 高橋 昭三 福原 達郎 山本 宏 濱田 昭 菱田 豊彦 藤澤 龍一 奥山 和男 辻 章夫 鬼塚 卓彌 岡本 謙一 吉木 周作 黒岩 幸雄 坪井 光雄 東 昇平 黄 昭堂 江澤 哲也	中井 康光 石川 耕一郎 菱田 不美 宮坂 貞 矢内原 巧 甲斐 祥生 道 道一 柴崎 好伸 橋本 政雄 岡松 孝男 窪田 哲昭 小林 昭夫 高場 利博 芝 燁彦 百瀬 和享 中谷 一泰 佐藤 三千雄 渡邊 恵子 杉崎 徹三 山田 耕一郎 大沢 昭緒 富田 基郎 ガイツ・ワイヤ 滝内 石夫 南雲 正男 佐々 龍二 熊田 馨 佐藤 永雄	井出 宏嗣 小池 正 宗近 宏次 越川 昭三 菅田 文夫 寺田 秀夫 長田 洋文 飯野 史郎 福島 義治 山本 龍二 宇内 康郎 佐川 文明 高橋 愛樹 黒木 良克 前田 昌子 片桐 敬 吉田 英機 斉藤 進 川和 忠治 宮下 元 島村 忠勝 伴 良雄 外丸 輝明 稲富 誠 鈴木 晟時 安井 昭 吉田 文英
---	---	--

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

平成 20 年 4 月 1 日称号授与

## 6. 顧問

学校法人昭和大学顧問	大学病院顧問	藤が丘病院・ 藤が丘リハビリテーション病院・ 横浜市北部病院顧問
川上 保雄 石井 暢 飯野 史郎 原 徹也 斉藤 誠 西本 昭夫(新任) 鬼塚 卓彌(新任) 特別顧問 高場 利博(新任) 鐺木 忠胤(新任)	白岩 照男 木村 政之 小池 義彦 関 召一(新任) 浦井 学	渡邊 史朗(新任) 荏原 光夫 今井 三男 新納 憲司 新海 毅 白木 洋二 入戸野 博(新任) 水野 恭一(新任)
		豊洲病院顧問
		小安 勤

## 7 . 学長・学部長・学校長・病院長

大 学		
学 長	細山田 明義	(H19. 7.28 重任)
医学部長	安原 一	(H19. 4. 1 就任)
歯学部長	宮崎 隆	(H19. 4. 1 重任)
薬学部長	山元 俊憲	(H20. 6.10 就任)
保健医療学部長	副島 和彦	(H20. 4. 1 重任)
富士吉田教育部長	片桐 敬	(H19. 4. 1 就任)
学生部長	立川 哲彦	(H20. 4. 1 就任)
医学部学生部長	久光 正	(H20. 4. 1 就任)
歯学部学生部長	立川 哲彦	(H20. 4. 1 重任)
薬学部学生部長	荒川 秀俊	(H20. 4. 1 重任)
保健医療学部学生部長	吉尾 千世子	(H20. 4. 1 就任)
富士吉田教育部学生部長	田中 一正	(H20. 4. 1 就任)
図書館長	中村 和郎	(H20. 4. 1 就任)
大学院		
医学研究科長	安原 一	(H19. 4. 1 就任)
歯学研究科長	宮崎 隆	(H19. 4. 1 重任)
薬学研究科長	山元 俊憲	(H20. 6.10 就任)
保健医療学研究科長	副島 和彦	(H19. 4. 1 就任)
専門学校		
医学部附属看護専門学校長	安本 和正	(H20. 4. 1 就任)
診療放射線専門学校長	田口 進	(H20. 4. 1 重任)
附属病院		
大学病院長	飯島 正文	(H20. 4. 1 重任)
大学病院附属東病院長	河村 満	(H20. 4. 1 就任)
藤が丘病院長	真田 裕	(H19.12.11 就任)
藤が丘リハビリテーション病院長	嶽山 陽一	(H19. 4. 1 就任)
横浜市北部病院長	田口 進	(H20. 4. 1 重任)
豊洲病院長	松川 正明	(H20. 4. 1 就任)
烏山病院長	加藤 進昌	(H19. 4. 1 就任)
歯科病院長	岡野 友宏	(H19. 4. 1 就任)
豊洲クリニック院長	高橋 春男	(H20. 4. 1 重任)

## 2. 法人の概要

### 8. 役職者(発令)

#### 教育職員

発令日	発令内容	氏名	備考
H20.4.1	保健医療学部長	副島 和彦	重任
H20.4.1	昭和大学病院長	飯島 正文	重任
H20.4.1	昭和大学病院副院長	有賀 徹	重任
H20.4.1	昭和大学病院副院長	板橋 家頭夫	就任
H20.4.1	昭和大学病院附属東病院長	河村 満	就任
H20.4.1	豊洲病院長	松川 正明	就任
H20.4.1	豊洲クリニック院長	高橋 春男	重任
H20.4.1	横浜市北部病院長	田口 進	重任
H20.4.1	横浜市北部病院副院長	工藤 進英	重任
H20.4.1	横浜市北部病院副院長	世良田 和幸	就任
H20.4.1	医学部附属看護専門学校長	安本 和正	就任
H20.4.1	医学部附属看護専門学校副校長	川島 俊子	重任
H20.4.1	診療放射線専門学校長	田口 進	重任
H20.4.1	図書館長	中村 和郎	就任
H20.4.1	図書館副館長	岡井 崇	重任
H20.4.1	図書館副館長	久光 久	就任
H20.4.1	図書館副館長	渡邊 雅幸	就任
H20.4.1	図書館副館長	高木 利一	就任
H20.4.1	学生部長	立川 哲彦	就任
H20.4.1	医学部学生部長	久光 正	就任
H20.4.1	歯学部学生部長	立川 哲彦	重任
H20.4.1	薬学部学生部長	荒川 秀俊	重任
H20.4.1	保健医療学部学生部長	吉尾 千世子	就任
H20.4.1	富士吉田教育部学生部長	田中 一正	就任
H20.4.1	富士吉田教育部副学生部長	長谷川 真紀子	就任
H20.4.1	薬学部教育委員長	中村 明弘	就任
H20.4.1	総合情報管理センター長	久光 正	就任
H20.4.1	口腔ケアセンター長	向井 美恵	就任
H20.5.1	医学部教育委員長	井廻 道夫	就任
H20.5.1	保健医療学部教育委員長	城丸 瑞恵	就任
H20.5.1	富士吉田教育部教育委員長	伊藤 良作	重任
H20.6.10	薬学部長	山元 俊憲	就任
H20.9.9	キャリア支援室長	久光 正	就任

#### 事務職員

発令日	発令内容	氏名
H20.4.1	長津田校舎事務長	佐藤 誠

## 9. 教育職員の配置状況

施設	学長	教授	員外教授	准教授	講師	助教	助教(員外)	臨床研修医	専任教職員	合計
学長	1									1
医学部基礎		14	2	14	20	29				79
医学部臨床(大学病院)		21	6	25	54	110	109			325
医学部臨床(東病院)		2	2	6	7	19	19			55
藤が丘病院		14	2	23	31	75	64			209
藤が丘リハビリテーション病院		1		5	1	11	4			22
横浜市北部病院		10	6	29	22	61	80			208
豊洲病院		2	1	6	5	8	12			34
烏山病院		1		1	1	12	8			23
豊洲クリニック		2	1	6	5	8	12			34
医学部卒後臨床研修センター								156		156
歯学部基礎		8		8	13	25				54
歯学部臨床(歯科病院)		13		17	31	40	71	67		239
薬学部		16	2	15	13	33				79
保健医療学部		16		12	17	2				47
富士吉田教育部		8	1	9	8	2				28
共同施設等				2		1				3
腫瘍分子生物学研究所				1	2	1				4
医学部附属看護専門学校									19	19
診療放射線専門学校									6	6
合計	1	128	23	179	230	437	379	223	25	1,625

(平成20年5月1日現在)

## 10. 非常勤教育職員の配置状況

施設	客員教授	兼任講師	合計
医学部基礎	59	161	220
医学部臨床(大学病院)	68	304	372
医学部臨床(東病院)	12	53	65
藤が丘病院	30	143	173
横浜市北部病院	9	45	54
豊洲病院		29	29
歯学部基礎	8	83	91
歯学部臨床(歯科病院)	19	203	222
薬学部	14	19	33
保健医療学部	6	21	27
富士吉田教育部		37	37
共同施設等		8	8
腫瘍分子生物学研究所	1		1
医学部附属看護専門学校		32	32
診療放射線専門学校		22	22
合計	226	1,160	1,386

(平成20年5月1日現在)

## 2. 法人の概要

### 11. 新任教授

発令日	学 部	所 属	氏 名	前 職
H20.4.1	保健医療学部	看護学科	下司 映一	保健医療学部准教授
H20.4.1	富士吉田教育部		加納 文晶	富士吉田教育部准教授
H20.4.1	富士吉田教育部 (員外)		倉田 知光	富士吉田教育部准教授
H20.9.1	医学部	微生物学	田中 和生	東海大学医学部基礎医学系 (生体防御学領域)教授
H20.9.9	医学部	藤が丘病院 産婦人科	齋藤 裕	藤が丘病院産婦人科 教授(員外)
H20.9.9	医学部 (員外)	藤が丘病院 内科腎臓	吉村 吾志夫	藤が丘病院内科腎臓 准教授
H20.9.9	医学部 (員外)	藤が丘病院 内科血液	森 啓	藤が丘病院内科血液 准教授
H20.9.9	医学部 (員外)	藤が丘病院 内科内分泌・代謝	谷山 松雄	藤が丘病院内科内分泌・代謝 准教授
H20.10.14	医学部	横浜市北部病院 こどもセンター	梅田 陽	横浜市北部病院 こどもセンター准教授
H20.12.9	富士吉田教育部 (員外)		堀川 浩之	富士吉田教育部准教授
H21.2.10	歯学部 (員外)	齶蝕・歯内治療学 歯科病院美容歯科	真鍋 厚史	齶蝕・歯内治療学准教授
H21.3.27	薬学部	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子	微生物薬品化学准教授
H21.3.27	薬学部	衛生化学	原 俊太郎	衛生化学准教授

### 12. 退任教授

退職日	学 部	所 属	氏 名
H20.4.27	薬学部	衛生化学	工藤 一郎
H20.9.16	富士吉田教育部		倉田 清
H20.9.30	医学部	藤が丘病院放射線科	北原 規
H21.3.31	医学部	外科学(消化器・一般外科学専門)	草野 満夫
H21.3.31	医学部	整形外科	宮岡 英世
H21.3.31	医学部	放射線医学	篠塚 明
H21.3.31	医学部	藤が丘病院内科消化器	與芝 真彰
H21.3.31	医学部	藤が丘病院脳神経外科	藤本 司
H21.3.31	歯学部	齶蝕・歯内治療学	松本 光吉
H21.3.31	富士吉田教育部		喜多村 得也
H21.3.31	富士吉田教育部		志関 義昭

## 3 . 年 譜

## 平成 20(2008)年

- 4 月 1 日 学校法人昭和大学入職式
- 7 日 診療放射線専門学校入学式
- 9 日 医学部附属看護専門学校入学式
- 11 日 昭和大学入学式（入寮式 12 日）
- 5 月 9 日 第 44 回看護専門学校戴帽式
- 30 日 第 175 回評議員会
- 6 月 3 日 故工藤一郎教授（理事・薬学部長）大学葬
- 10 日 山元俊憲薬学部長就任
- 21 日 父兄会総会
- 7 月 4 日 夏季スポーツ大会壮行会
- 14 日 第 14 回昭和大学医学教育者のためのワークショップ（～16 日）
- 22 日 第 2 回富士吉田教育部教育ワークショップ（～24 日）
- 29 日 第 13 回昭和大学歯学教育者のためのワークショップ（～31 日）
- 8 月 19 日 昭和大学薬学教育者のためのワークショップ（～21 日）
- 25 日 第 4 回富士吉田教育部 PBL チュートリアルワークショップ（～26 日）
- 9 月 10 日 大学祭（～12 日）
- 12 日 第 1 回昭和大学ホームカミングデー
- 14 日 名誉教授懇談会
- 18 日 父兄会富士吉田教育部会
- 21 日 解剖慰霊祭（229 柱・創立以来 1 万 6777 柱）
- 11 月 1 日 保健医療学部緑風祭（～2 日）
- 2 日 第 1 回保健医療学部ホームカミングデー
- 7 日 武重優秀クラブ賞表彰式
- 11 日 永年勤続者表彰式（197 人）
- 15 日 創立記念日（創立 80 周年記念式典、記念祝賀会）
- 28 日 故倉田清教授富士吉田教育部葬
- 29 日 父兄会秋季部会

## 平成 21(2009)年

- 3 月 5 日 第 3 回保健医療学部教育者のためのワークショップ（～6 日）
- 6 日 医学部附属看護専門学校卒業式
- 10 日 定年退職記念パーティー
- 19 日 昭和大学卒業式（卒業生：医学部 111 人 歯学部 95 人 薬学部 173 人  
保健医療学部 167 人 合計 546 人）
- 27 日 第 176 回評議員会

2. 法人の概要

4. 規程の制定・改廃

区分	規程名	施行日
制定	医学部附属看護専門学校奨学金貸与規程	(H20.4.1)
	昭和大学口腔ケアセンター規程	(H20.4.1)
	昭和大学口腔ケアセンター運営委員会規則	(H20.4.1)
	昭和大学大学院リサーチ・アシスタント規程	(H20.4.1)
	昭和大学学位規則	(H20.4.1)
	医学研究科学位申請等に関する内規	(H20.4.1)
	薬学研究科学位申請等に関する内規	(H20.4.1)
	保健医療学研究科学位申請等に関する内規	(H20.4.1)
	昭和大学研究費に関する管理規程	(H20.4.1)
	昭和大学豊洲クリニック院長に関する選任規程	(H20.6.10)
	キャリア支援室運営規程	(H20.7.8)
	学務委員会規程	(H20.7.8)
	歯学研究科学位申請等に関する内規	(H20.9.1)
	学校法人昭和大学における公益通報者の保護に関する規程	(H20.9.9)
学校法人昭和大学内部監査規程	(H20.9.9)	
改正	定年に関する規程	(H20.4.1)
	昭和大学大学院学則	(H20.4.1)
	校務出張旅費規程	(H20.4.1)
	学会等出張旅費規程(国内)	(H20.4.1)
	学生海外実習・研修補助規程	(H20.4.1)
	大学院医学研究科の学費に関する申合せ	(H20.4.1)
	職員の資格等に関する規程	(H20.4.1)
	歯学部教育委員会規則	(H20.4.1)
	医学部入学試験常任委員会規則	(H20.4.1)
	歯学部入学試験常任委員会規則	(H20.4.1)
	薬学部入学試験常任委員会規則	(H20.4.1)
	保健医療学部入学試験常任委員会規則	(H20.4.1)
	事務組織規程	(H20.7.8)
	薬学研究科学位申請等に関する内規	(H20.9.18)
保健医療学研究科学位申請等に関する内規	(H21.1.1)	
厚生資金貸付規程	(H21.2.1)	
廃止	医学部附属看護専門学校奨学資金貸与規程	(H20.4.1)
	医学研究科学位規則	(H20.4.1)
	医学研究科学位規則において論文博士による学位申請者の資格に関する内規	(H20.4.1)
	薬学研究科学位規則	(H20.4.1)
	薬学研究科学位規則に関する内規	(H20.4.1)
	保健医療学研究科学位規則	(H20.4.1)
歯学研究科学位規則第3条第2項(論文提出による学位申請者の資格)に関する内規	(H21.3.31)	

(平成21年3月31日現在)

## 5. 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況

## 1. 学部

## 1-1 入学者選抜の種類及び実施状況

(単位：人)

学部	選抜名	入学定員	志願者数			合格者数			入学者数			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
医学部	一般選抜 期	78	1,301	685	1,986	50	28	78	48	19	67	
	一般選抜 期	20	787	452	1,239	15	11	26	21	10	31	
	地域別選抜	12	80	129	209	13	5	18	11	4	15	
	小 計	110	2,168	1,266	3,434	78	44	122	80	33	113	
歯学部	推薦入学	23	18	28	46	8	18	26	8	18	26	
	一般選抜 期	55	173	133	306	40	56	96	27	26	53	
	一般選抜 期	8	29	31	60	7	7	14	7	9	16	
	センター試験	10	64	59	123	14	16	30	0	4	4	
	小 計	96	284	251	535	69	97	166	42	57	99	
	編入学(2年次)	若干名	5	14	19	3	2	5	2	2	4	
薬学部	推薦入学	60	24	91	115	8	55	63	8	55	63	
	一般選抜 期	100	236	422	658	71	148	219	34	81	115	
	一般選抜 期	30	100	188	288	10	27	37	6	24	30	
	センター試験	10	49	121	170	11	24	35	0	1	1	
	小 計	200	409	822	1,231	100	254	354	48	161	209	
保健医療学部	看護学科	推薦入学	30	2	56	58	2	37	39	2	37	39
		一般選抜 期	50	26	239	265	7	74	81	2	40	42
		一般選抜 期	5	3	59	62	1	14	15	1	19	20
		センター試験	10	14	125	139	5	35	40	0	3	3
		看護学科 小計	95	45	479	524	15	160	175	5	99	104
		編入学(3年次)	10	1	21	22	0	12	12	0	10	10
	理学療法学科	推薦入学	3	11	23	34	0	4	4	0	4	4
		一般選抜 期	21	80	82	162	12	18	30	11	9	20
		一般選抜 期	3	19	8	27	4	2	6	5	3	8
		センター試験	3	36	38	74	8	7	15	0	2	2
		理学療法学科 小計	30	146	151	297	24	31	55	16	18	34
	作業療法学科	推薦入学	7	3	5	8	2	5	7	2	5	7
		一般選抜 期	17	20	40	60	7	15	22	6	8	14
		一般選抜 期	3	5	7	12	2	5	7	3	5	8
		センター試験	3	9	27	36	1	18	19	0	2	2
		作業療法学科 小計	30	37	79	116	12	43	55	11	20	31
	合 計(編入学を除く)		561	3,089	3,048	6,137	298	629	927	202	388	590

(平成 21 年 4 月 1 日入学者)

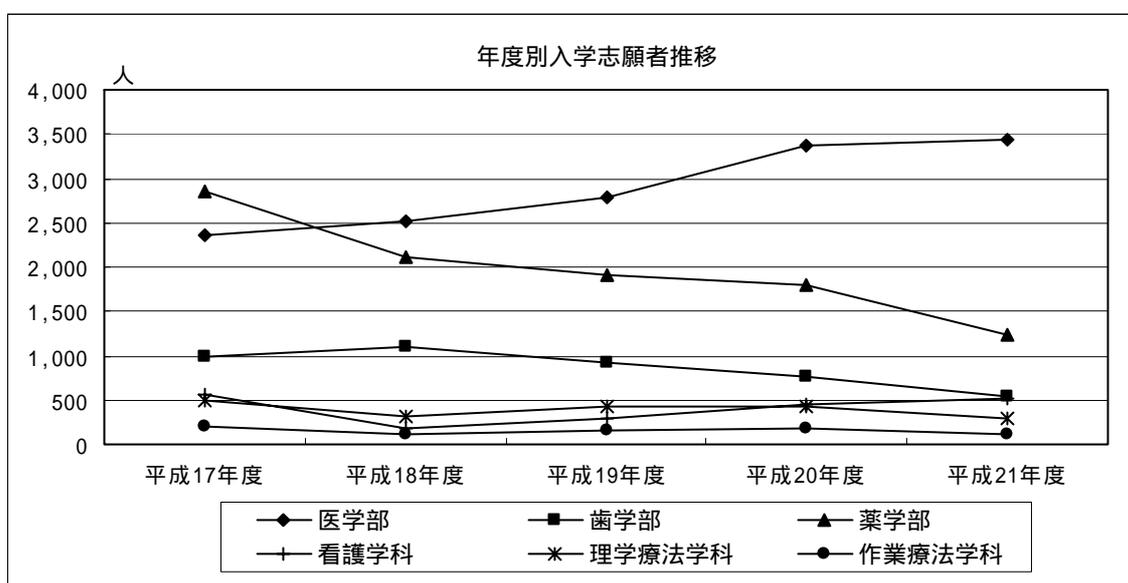
推薦入学は指定校推薦を含む 合格者数は正規合格者のみ

## 2. 法人の概要

### 1-2 年度別入学志願者数

(単位：人)

	医学部	歯学部	薬学部	保健医療学部		
				看護学科	理学療法学科	作業療法学科
平成17年度	2,358	990	2,846	573	496	213
平成18年度	2,528	1,101	2,103	181	312	113
平成19年度	2,778	924	1,908	284	428	148
平成20年度	3,371	755	1,796	459	431	173
平成21年度	3,434	535	1,231	524	297	116



### 1-3 入学志願者の詳細

(単位：人)

学部名	現役	1浪	2浪以上	外国の 学校卒	専修学校 高等課程卒	その他 (検定等)	合計
医学部	1,172	1,066	1,172	12	0	12	3,434
歯学部	353	223	171	0	0	8	755
薬学部	906	244	77	0	0	4	1,231
保健医療学部	813	87	30	3	0	4	937
合計	3,244	1,620	1,450	15	0	28	6,357

## 1-4 出身高校所在地別志願者・入学者数

地域	医学部				歯学部				薬学部				保健医療学部			
	志願者数 (人)	全志願者に対する割合 (%)	入学者数 (人)	全入学者に対する割合 (%)												
東京都	1,394	40.6%	44	38.8%	173	32.3%	29	29.3%	425	34.5%	72	34.4%	248	26.5%	60	35.4%
北海道	61	1.8%	4	3.5%	9	1.7%	2	2.0%	6	0.5%	0	0.0%	4	0.4%	1	0.6%
東北	153	4.5%	2	1.8%	18	3.4%	4	4.0%	48	3.9%	8	3.8%	38	4.1%	9	5.3%
関東	1,057	30.8%	34	30.0%	149	27.9%	23	23.2%	581	47.2%	94	45.0%	450	48.0%	69	40.8%
甲信越	141	4.1%	5	4.4%	28	5.2%	6	6.1%	55	4.5%	9	4.3%	95	10.1%	17	10.0%
北陸	54	1.6%	4	3.5%	6	1.1%	2	2.0%	9	0.7%	0	0.0%	4	0.4%	0	0.0%
東海	160	4.7%	2	1.8%	33	6.2%	9	9.1%	48	3.9%	13	6.2%	62	6.6%	10	5.9%
近畿	70	2.0%	5	4.4%	26	4.9%	4	4.0%	8	0.6%	3	1.4%	11	1.2%	0	0.0%
中国	87	2.5%	3	2.6%	33	6.2%	6	6.1%	13	1.1%	3	1.4%	2	0.2%	0	0.0%
四国	57	1.7%	5	4.4%	14	2.6%	4	4.0%	2	0.2%	0	0.0%	4	0.4%	1	0.6%
九州 沖縄	174	5.1%	5	4.4%	39	7.3%	10	10.1%	30	2.4%	7	3.3%	12	1.3%	2	1.2%
外国	12	0.3%	0	0.3%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.3%	0	0.2%
大検	14	0.4%	0	0.0%	6	1.1%	0	0.0%	4	0.3%	0	0.0%	4	0.4%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	3,434	100%	113	100%	535	100%	99	100%	1,231	100%	209	100%	937	100%	169	100%

## 1-5 在籍学生数

(単位：人)

学部	学科	入学定員	収容定員	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
医学部	医学科	120	720	115	(31)	126	(33)	112	(32)	121	(30)	118	(31)	120	(18)	712	(175)
歯学部	歯学科	105	630	97	(48)	119	(56)	103	(57)	91	(47)	98	(50)	104	(54)	612	(312)
薬学部 (6年制)	薬学科	200	1,200	202	(147)	223	(141)	170	(120)	-	-	-	-	-	-	595	(408)
薬学部 (4年制)	薬学科	-	-	-	-	1	(1)	18	(10)	133	(87)	-	-	-	-	152	(98)
	生物薬学科	-	-	-	-	-	-	-	-	82	(52)	-	-	-	-	82	(52)
	小計	-	-	-	-	1	(1)	18	(10)	215	(139)	-	-	-	-	234	(150)
保健医療学部	看護学科	95 (編10)	400	104	(97)	126	(113)	113	(103)	100	(98)	-	-	-	-	443	(411)
	理学療法学科	30	120	33	(19)	35	(14)	37	(18)	34	(15)	-	-	-	-	139	(66)
	作業療法学科	30	120	35	(20)	35	(27)	36	(24)	35	(28)	-	-	-	-	141	(99)
	小計	155 (編10)	640	172	(136)	196	(154)	186	(145)	169	(141)	-	-	-	-	723	(576)
合計	580 (編10)	3,190	586	(498)	665	(540)	589	(519)	596	(637)	216	(81)	224	(72)	3,110	(1,771)	

(平成20年5月1日現在)

( )は女子人数で内数

## 2. 法人の概要

### 1-6 進級状況

(単位：人)

	年次	在籍学生数	進級・ 卒業生	休学者	復学者	退学者	留年者	留年率
医学部	1	115	114	0	0	0	1	0.9%
	2	126	123	0	0	1	2	1.6%
	3	112	107	1	0	1	3	2.7%
	4	121	117	1	0	0	3	2.5%
	5	118	113	0	0	1	4	3.4%
	6	120	111	0	0	0	9	7.5%
	合計	712	685	2	0	3	22	3.1%
歯学部	1	97	93	1	1	3	0	0.0%
	2	119	100	4	3	2	13	10.9%
	3	103	93	1	0	1	8	7.8%
	4	91	84	0	0	0	7	7.7%
	5	98	94	0	1	0	4	4.1%
	6	104	95	0	0	0	9	8.7%
	合計	612	559	6	5	6	41	6.7%
薬学部 (4年制)	1	-	-	-	-	-	-	-
	2	1	0	0	0	1	0	0.0%
	3	18	18	0	0	0	0	0.0%
	4	215	196	0	0	0	19	8.8%
	合計	234	214	0	0	1	19	8.1%
薬学部 (6年制)	1	202	197	0	0	4	1	0.5%
	2	223	194	0	0	4	25	11.2%
	3	170	167	0	0	1	2	1.2%
	4	-	-	-	-	-	-	-
	5	-	-	-	-	-	-	-
	6	-	-	-	-	-	-	-
	合計	595	558	0	0	9	28	4.7%
保健医療 学部	1	172	172	0	0	0	0	0.0%
	2	196	186	1	1	2	8	4.1%
	3	186	178	1	2	2	6	3.2%
	4	169	167	0	0	0	2	1.2%
	合計	723	703	2	3	4	16	2.2%

在籍学生数は平成20年5月1日現在、その他は平成21年3月31日現在  
復学者は在籍学生数に含む

## 1-7 国家試験状況

### 医師

第103回医師国家試験（平成21年）の本学の合格率は93.2%であった。これは対全国平均比で2.2%、対私大平均比で3.8%上回り、本学の対前年比では0.1%下回った。また、新卒者の合格率は94.6%、既卒者の合格率は71.4%であった。

全国大学別の合格順位では、80校中（国立29、公立8、私立43）31位（前年28位）であった。合格順位の1位は防衛医科大学校(100.0%)、2位は自治医科大学(98.9%)、3位は東京慈恵会医科大学(98.1%)であった。

医師国家試験合格率

	本学	全国平均	私立大学 平均		新卒	既卒	全体	
平成17年	95.0%	89.1%	87.1%	本学	受験者	111人	7人	118人
平成18年	98.2%	90.0%	89.2%		合格者	105人	5人	110人
平成19年	90.6%	87.9%	84.7%		合格率	94.6%	71.4%	93.2%
平成20年	93.3%	90.6%	89.3%	全国平均	合格率	94.8%	54.3%	91.0%
平成21年	93.2%	91.0%	89.4%	私立大学 平均	合格率	93.4%	56.0%	89.4%

### 歯科医師

第102回歯科医師国家試験（平成21年）の本学の合格率は76.2%であった。これは対全国平均比で8.7%、対私大平均比で13.1%上回り、本学の対前年比で7.8%上回った。また、新卒者の合格率は83.2%、既卒者の合格率は54.8%であった。

全国の大学別合格順位では29校中（国立11、公立1、私立17）14位（前年17位）であった。また、私立大学別の合格順位では17校中4位（前年6位）であった。

合格順位の1位は大阪大学(90.4%)、2位は岡山大学(89.3%)、3位は北海道大学(87.5%)であった。

歯科医師国家試験合格率

	本学	全国平均	私立大学 平均		新卒	既卒	全体	
平成17年	81.5%	74.6%	70.9%	本学	受験者	95人	31人	126人
平成18年	90.2%	80.8%	77.4%		合格者	79人	17人	96人
平成19年	87.7%	74.2%	69.8%		合格率	83.2%	54.8%	76.2%
平成20年	68.4%	68.9%	64.7%	全国平均	合格率	76.1%	46.1%	67.5%
平成21年	76.2%	67.5%	63.1%	私立大学 平均	合格率	72.3%	43.6%	63.1%

## 2. 法人の概要

### 薬剤師

第94回薬剤師国家試験（平成21年）の本学の合格率は84.7%であった。これは対全国平均比で10.3%、対私大平均比で9.4%上回り、本学の対前年比では2.8%上回った。

本学の新卒者合格率は92.5%であった。これは対私大平均比で6.8%、対全国平均比で7.7%上回り、本学の対前年比では3.1%上回った。

本学の既卒者合格率は62.9%であった。これは対私大平均比で12%、対全国平均比で13.6%上回り、本学の対前年比では0.6%上回った。

本学の全国大学別の合格順位は61校（国立14、公立3、私立44）中16位（前年21位）であった。合格順位の1位は愛知学院大学(96.2%)、2位は崇城大学(95.0%)、3位は九州保健福祉大学(94.8%)であった。

#### 薬剤師国家試験合格率

	本学	全国平均	私立大学平均
平成17年	87.3%	84.4%	85.6%
平成18年	79.9%	74.3%	75.6%
平成19年	78.3%	75.6%	76.7%
平成20年	81.9%	76.1%	76.8%
平成21年	84.7%	74.4%	75.3%

		新卒	既卒	全体
本学	受験者	173人	62人	235人
	合格者	160人	39人	199人
	合格率	92.5%	62.9%	84.7%
全国平均	合格率	84.8%	49.3%	74.4%
私立大学平均	合格率	85.7%	50.9%	75.3%

### 看護師

第98回看護師国家試験（平成21年）の本学の合格率は97.0%であった。これは対全国平均比で7.1%上回った。

本学部は平成19年度編入生を除く第4回卒業生全員が看護師国家試験を受験し、その合格率は新卒者の対全国平均比を3.4%上回った。

#### 看護師国家試験合格率

	本学	全国平均	大学平均
平成20年	97.1%	90.3%	96.6%
平成21年	97.0%	89.9%	96.7%

		新卒	既卒	全体
本学	受験者	92人	3人	95人
	合格者	90人	2人	92人
	合格率	97.8%	66.7%	96.8%
全国平均	合格率	94.4%	47.4%	89.9%
大学平均	合格率	-	-	96.7%

### 保健師

第 95 回保健師国家試験（平成 21 年）の本学の合格率は 100%であった。これは対全国平均比で 2.3%上回った。

本学部は、平成 19 年度編入生 8 人を含む 100 人の第 4 回卒業生全員が保健師国家試験を受験し、その合格率は新卒者の対全国平均比を 1.5%上回った。

#### 保健師国家試験合格率

	本学	全国平均	大学平均
平成 20 年	96.3%	91.1%	91.0%
平成 21 年	100%	97.7%	97.8%

		新卒	既卒	全体
本学	受験者	100人	4人	104人
	合格者	100人	4人	104人
	合格率	100%	100%	100%
全国平均	合格率	98.5%	85.4%	97.7%
大学平均	合格率	-	-	97.8%

### 理学療法士

第 44 回理学療法士国家試験（平成 21 年）の本学の合格率は 90.9%で、昨年度を 4.3%上回る結果であった。本学部は、第 4 期生 34 人が受験し全員が合格した。

#### 理学療法士国家試験合格率

	本学	全国平均
平成 20 年	100.0%	86.6%
平成 21 年	100.0%	90.9%

		新卒	既卒	全体
本学	受験者	34人	-	34人
	合格者	34人	-	34人
	合格率	100%	-	100%
全国平均	合格率	-	-	90.9%

### 作業療法士

第 44 回作業療法士国家試験（平成 21 年）の合格率は 81.0%で、前年を 7.4%上回る結果となった。本学部は、第 4 期生 33 人が受験し 31 人が合格、既卒者は 3 人が受験し全員合格した。

#### 作業療法士国家試験合格率

	本学	全国平均
平成 20 年	91.4%	73.6%
平成 21 年	94.4%	81.0%

		新卒	既卒	全体
本学	受験者	33人	3人	36人
	合格者	31人	3人	34人
	合格率	93.9%	100%	94.4%
全国平均	合格率	-	-	81.0%

## 2. 法人の概要

## 2. 大学院

### 2-1 入学者選抜の種類および実施状況

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	志願者数			合格者数			入学者数		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
医学研究科	生理系	10	13	7	20	13	7	20	13	7	20
	病理系	12	8	0	8	8	0	8	8	0	8
	社会医学系	4	4	1	5	4	1	5	4	1	5
	内科系	16	5	4	9	5	4	9	5	4	9
	外科系	18	6	2	8	6	2	8	6	2	8
	小計	60	36	14	50	36	14	50	36	14	50
歯学研究科	歯学(選抜期)	18	9	3	12	9	2	11	9	2	11
	歯学(選抜期社会人特別)		1	1	2	1	1	2	1	1	2
	歯学(選抜期)	若干名	3	8	11	3	8	11	3	8	11
	歯学(選抜期社会人特別)		2	6	8	2	6	8	2	6	8
	小計	18	15	18	33	15	17	32	15	17	32
薬学研究科	薬学(博士前期推薦)	15	10	7	17	10	7	17	10	6	16
	薬学(博士前期選抜期)	15	18	8	26	16	7	23	12	5	17
	薬学(博士前期選抜期)	若干名	2	3	5	2	2	4	2	1	3
	薬学(博士前期社会人特別)		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計(薬学博士前期)	30	30	18	48	28	16	44	24	12	36
	医療薬学(博士前期推薦)	15	6	12	18	6	12	18	5	11	16
	医療薬学(博士前期選抜期)	15	10	9	19	8	8	16	5	5	10
	医療薬学(博士前期選抜期)	若干名	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	医療薬学(博士前期社会人特別)		0	2	2	0	2	2	0	2	2
	計(医療薬学博士前期)	30	17	24	41	15	23	38	11	19	30
	薬学(博士後期選抜期)	8	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	薬学(博士後期選抜期)	若干名	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	薬学(博士後期社会人特別)		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計(薬学博士後期)	8	0	2	2	0	2	2	0	2	2
	医療薬学(博士後期選抜期)	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療薬学(博士後期選抜期)	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療薬学(博士後期社会人特別)		1	0	1	1	0	1	1	0	1
	計(医療薬学博士後期)	8	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	小計	76	48	44	92	44	41	85	36	33	69
	保健医療学研究科	保健医療学	10	1	8	9	1	8	9	1	8
合計 (編入学を除く)		164	100	84	184	96	80	176	88	72	160

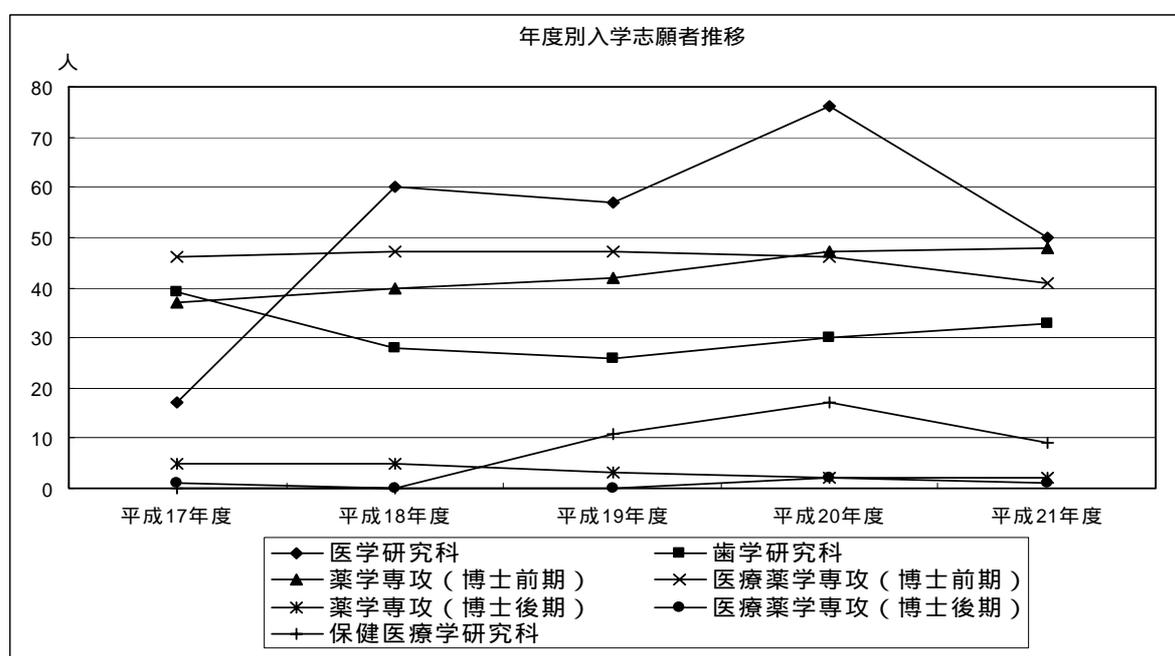
(平成21年4月1日入学者)

合格者は正規合格者のみ

## 2-2 年度別入学志願者数

(単位：人)

	医学研究科	歯学研究科	薬学研究科				保健医療学研究科
			薬学専攻 (博士前期)	医療薬学専攻 (博士前期)	薬学専攻 (博士後期)	医療薬学専攻 (博士後期)	
平成17年度	17	39	37	46	5	1	-
平成18年度	60	28	40	47	5	0	-
平成19年度	57	26	42	47	3	0	11
平成20年度	76	30	47	46	2	2	17
平成21年度	50	33	48	41	2	1	9



## 2-3 入学志願者の詳細

(単位：人)

研究科	本学出身者	他大学出身者	外国の学校卒	その他	合計
医学研究科	34	16	0	0	50
歯学研究科	24	8	1	0	33
薬学研究科博士前期課程	76	13	0	0	89
薬学研究科博士後期課程	3	0	0	0	3
保健医療学研究科	2	4	0	3	9
合計	139	41	1	3	184

## 2. 法人の概要

### 2-4 在籍学生数

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	1年次		2年次		3年次		4年次		合計	
				( )		( )		( )		( )		( )
医学研究科	生理系	10	22	(5)	14	(3)	12	(1)	2	(2)	50	(11)
	病理系	12	14	(3)	12	(2)	6	(1)	3	(1)	35	(7)
	社会医学系	4	12	(6)	3	(1)	5	(2)	4	(3)	24	(12)
	内科系	16	13	(6)	8	(3)	10	(1)	2	(0)	33	(10)
	外科系	18	15	(5)	16	(7)	16	(6)	7	(3)	54	(21)
	小計	60	76	(25)	53	(16)	49	(11)	18	(9)	196	(61)
歯学研究科	歯学	18	30	(14)	23	(8)	22	(9)	30	(16)	105	(47)
薬学研究科	薬学 (博士前期)	30	29	(11)	34	(19)	-	-	-	-	63	(30)
	医療薬学 (博士前期)	30	35	(24)	35	(25)	-	-	-	-	70	(49)
	薬学 (博士後期)	8	2	(1)	2	(0)	4	(0)	-	-	8	(1)
	医療薬学 (博士後期)	8	2	(1)	0	(0)	0	(0)	-	-	2	(1)
	小計	76	68	(37)	71	(44)	4	(0)	-	-	143	(81)
保健医療学 研究科	保健医療学	10	13	(6)	11	(9)	-	-	-	-	24	(15)
合計		164	187	(82)	158	(77)	75	(20)	48	(25)	468	(204)

(平成20年5月1日現在)

( )は女子人数で内数

## 2-5 修了生数

(単位：人)

専攻		修了	人数	累計
医学研究科		第47回	16	1,903
歯学研究科		第23回	25	391
薬学 研究科	博士前期	第39回	68	1,018
	博士後期	第34回	4	68
保健医療学研究科		第1回	10	10
合計			123	3,390

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

## 2-6 学位授与状況

(単位：人)

区分	課程		論文	
	平成20年度	総数	平成20年度	総数
医学研究科	56	1,737	47	2,094
歯学研究科	25	391	12	344
薬学 研究科	博士前期	68	1,018	-
	博士後期	4	68	7
保健医療学研究科	10	10	-	-
合計	163	3,224	66	2,601

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

## 2. 法人の概要

### 3. 医学部附属看護専門学校

#### 3-1 入学者選抜の状況

##### 1. 入学者選抜の実施状況

(単位：人)

選抜名	入学定員	志願者数		合格者数		入学者数	
		総数	うち男子	総数	うち男子	総数	うち男子
推薦	40	52	2	45	1	45	1
社会人	10	125	20	31	3	17	2
一般 期	45	269	20	82	8	42	6
一般 期	5	92	11	16	0	9	0
合計	100	538	53	174	12	113	9

(平成 20 年 4 月 1 日入学者)

##### 2. 出身高校所在別入学者数

(単位：人)

県名	入学者数	県名	入学者数	県名	入学者数	県名	入学者数
北海道	3	東京	21	滋賀		香川	
青森	1	神奈川	19	京都		愛媛	1
岩手	2	新潟	4	大阪	1	高知	2
宮城	3	富山		兵庫		福岡	2
秋田	3	石川	1	奈良		佐賀	
山形	5	福井		和歌山		長崎	
福島	6	山梨	3	鳥取	1	熊本	
茨城	2	長野	2	島根		大分	1
栃木	1	岐阜	2	岡山		宮崎	1
群馬	3	静岡	3	広島		鹿児島	2
埼玉	13	愛知	1	山口	1	沖縄	
千葉	4	三重		徳島		米国	
						合計	113

#### 3-2 在籍学生数

(単位：人)

学科	内訳	入学定員	1 年次	2 年次	3 年次	合計
看護学科	総計	100	117	111	111	337
	うち男子		7	3	10	20

(平成 20 年 5 月 1 日現在)

## 3-3 進級状況

(単位：人)

年次	在籍学生数	退学者	休学者	復学者	進級・卒業者	留年者	留年率
1	117	4	2	0	109	2	1.7%
2	111	0	1	0	109	2	1.8%
3	111	0	3	0	107	1	0.9%
合計	339	4	6	0	325	5	1.5%

(在籍学生数は平成 20 年 5 月 1 日現在、その他は平成 21 年 3 月 31 日現在)

留年率 = 留年者数 / 在籍学生数

復学者は在籍学生数に含む

## 3-4 国家試験状況

## 看護師国家試験合格率

	本校	全国平均
平成 17 年	96.6%	91.4%
平成 18 年	97.8%	88.3%
平成 19 年	97.6%	90.6%
平成 20 年	96.3%	90.3%
平成 21 年	98.2%	89.9%

第 98 回看護師国家試験は、問題の構成が大きく変わり午前・午後ともに必修問題から始まり、各領域の状況設定問題までが出題された。受験者は午前問題を見て混乱したものが多く、このことも関係していると思われ、合格基準は、必修問題では全体の 80%以上と変化はないが、一般問題、状況設定問題では 64.4%と昨年の 66%より低下している。

本校では、新卒者 107 人と既卒者 4 人が受験し、109 人が合格した。

		新卒	既卒	全体
本校	受験者	107人	4人	111人
	合格者	105人	4人	109人
	合格率	98.1%	100%	98.2%
全国	受験者	51,358人		
	合格者	45,784人		
	合格率	89.9%		

## 2. 法人の概要

### 3-5 卒業生状況

平成 20 年度の卒業生は 107 人であった。うち 95 人が本学附属病院に、8 人が他病院に就職した。進学者は 2 人であった。

#### 1. 卒業生数

学科名	回	人数	累計
看護学科 (うち男子)	43	107人 (9人)	2,785人 (39人)

#### 2. 卒業生進路

就職先	人数
昭和大学病院	36
藤が丘病院	34
藤が丘リハビリテーション病院	2
横浜市北部病院	13
豊洲病院	6
烏山病院	4
他病院	8
進学	2
その他	2
合計	107

## 4. 診療放射線専門学校

### 4-1 在籍学生数

(単位：人)

学 科	入学定員	内 訳	1年次	2年次	3年次	計
診療放射線学科	30	総 計	25	23	29	77
		うち女子	5	6	10	11

(平成20年5月1日現在)

### 4-2 進級状況

(単位：人)

年 次	在学学生数	退学者	休学者	復学者	進級・卒業者	留年者	留年率
1	25	4	0	1	21	0	0.0%
2	23	1	0	0	19	3	13.0%
3	29	1	0	0	27	1	3.4%
合 計	77	6	0	1	67	4	5.2%

(在籍学生数は平成20年5月1日現在、その他は平成21年3月31日現在)

留年率 = 留年者数 / 在籍学生数

復学者は在籍学生数に含む

### 4-3 国家試験状況

#### 診療放射線技師国家試験合格率

	本 校	全国平均
平成17年	45.2%	71.7%
平成18年	58.1%	62.6%
平成19年	80.9%	76.5%
平成20年	75.8%	73.2%
平成21年	72.7%	74.4%

第61回診療放射線技師国家試験の本校の合格率は、新卒者88.9%、既卒者0%、全体で72.7%であった。なお、全国の厚生労働大臣指定校の新卒者合格率は82.7%、既卒者24.3%、全体では64.8%で、これに文部科学大臣指定校も含めた合格率は74.4%であった。本校の新卒者合格率は、厚生労働大臣指定校16校中6位と上位に位置する良好な結果となった。

		新 卒	既 卒	全 体
本 校	受験者	27人	6人	33人
	合格者	24人	0人	24人
	合格率	88.9%	0%	72.7%
全 国	受験者	2,547人		
	合格者	1,896人		
	合格率	74.4%		

## 2. 法人の概要

### 4-4 卒業生状況

平成 20 年度は 27 人が卒業した。国家試験合格者のうち、昭和大学病院に 1 人、藤が丘病院に 1 人、横浜市北部病院に 1 人が就職した。また、他病院に 8 人が就職し、6 人が編入学で大学に進学した。

#### 1. 卒業生数

	回	人数	累計
診療放射線学科 (うち女子)	6	27 人 (9 人)	153 人 (50 人)

#### 2. 卒業生進路

就職先	人数
昭和大学病院	1
藤が丘病院	1
横浜市北部病院	1
豊洲病院	1
烏山病院	1
他病院	8
その他	16
合計	27

## 3. 財務状況

## 1. 資金収支計算書

(単位:円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
収入の部					
学生生徒等納付金	9,877,175,000	10,040,890,000	10,004,590,000	10,019,390,000	10,046,010,000
手数料	387,101,257	346,255,550	371,464,510	387,960,440	363,172,630
医療収入	63,318,725,905	64,765,393,297	64,676,020,109	66,149,536,728	65,299,224,033
寄付金	892,613,178	926,433,504	1,028,968,829	1,067,160,157	1,143,551,557
補助金	5,232,654,433	5,508,165,278	5,096,595,587	5,228,289,049	5,715,186,853
資産運用収入	750,861,789	963,021,899	1,140,241,464	1,629,147,898	1,339,952,815
資産売却差額	70,000,000	0	1,686,000,000	320,331,616	600,520,000
事業収入	842,746,557	833,887,935	758,204,220	804,258,773	948,268,216
雑収入	808,958,695	656,566,488	945,895,539	645,603,090	629,133,258
借入金等収入	255,000,000	171,100,000	105,000,000		
前受金収入	2,742,389,500	2,876,870,320	2,985,461,960	2,866,708,800	2,771,211,130
その他の収入	11,561,171,425	12,028,584,089	12,045,600,012	12,445,701,260	12,304,797,279
資金収入調整勘定	13,470,964,519	13,763,439,939	13,562,332,786	14,141,236,441	14,110,736,199
前年度繰越支払資金	33,992,022,929	27,906,882,611	18,322,573,058	22,749,567,610	22,387,389,804
収入の部合計	117,260,456,149	113,260,611,032	105,604,282,502	110,172,418,980	109,437,681,376
支出の部					
人件費	38,845,568,069	38,165,686,613	38,389,452,733	39,252,557,091	39,084,640,315
教育研究経費	31,650,157,335	32,628,590,195	32,943,383,087	32,876,805,435	33,285,060,170
管理経費	2,325,146,185	2,480,792,494	2,479,207,076	2,351,777,406	2,400,042,576
借入金等利息支出	948,645,072	975,815,998	833,144,638	846,236,577	791,693,590
借入金等返済支出	3,289,196,000	8,275,660,000	1,866,556,000	1,920,626,000	1,892,904,000
施設関係支出	3,673,612,227	3,174,114,650	2,653,518,581	1,575,452,356	2,985,639,700
設備関係支出	2,248,598,999	3,253,360,452	3,786,085,005	2,331,837,666	3,866,463,698
資産運用支出	6,085,266,296	1,529,939,116	3,917,685,000	6,337,556,616	2,258,928,038
その他の支出	6,268,292,669	6,555,932,188	2,418,099,373	6,687,580,492	6,613,740,054
資金支出調整勘定	5,980,909,314	2,101,853,732	6,432,416,601	6,395,400,463	7,521,240,423
次年度繰越支払資金	27,906,882,611	18,322,573,058	22,749,567,610	22,387,389,804	23,779,809,658
支出の部合計	117,260,456,149	113,260,611,032	105,604,282,502	110,172,418,980	109,437,681,376

## 2. 消費収支計算書

(単位:円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
消費収入の部					
学生生徒等納付金	9,877,175,000	10,040,890,000	10,004,590,000	10,019,390,000	10,046,010,000
手数料	387,101,257	346,255,550	371,464,510	387,960,440	363,172,630
医療収入	63,318,725,905	64,765,393,297	64,676,020,109	66,149,536,728	65,299,224,033
寄付金	969,532,342	980,754,233	1,104,765,434	1,131,549,126	1,188,454,514
補助金	5,232,654,433	5,508,165,278	5,096,595,587	5,228,289,049	5,715,186,853
資産運用収入	750,861,789	963,021,899	1,140,241,464	1,629,147,898	1,339,952,815
資産売却差額			240,621,014		157,500
事業収入	842,746,557	833,887,935	785,204,220	804,258,773	948,268,216
雑収入	839,263,154	667,253,293	952,167,811	654,872,384	634,569,233
帰属収入合計	82,218,060,437	84,105,621,485	84,344,670,149	86,005,004,998	85,534,996,794
基本金組入額合計	6,775,643,782	9,370,472,567	3,257,042,475	2,685,586,839	7,529,932,483
消費収入の部合計	75,442,416,655	74,735,148,918	81,087,627,674	83,319,418,159	78,005,064,311
消費支出の部					
人件費	39,140,561,004	38,773,638,214	38,917,340,103	39,451,131,550	39,366,207,841
教育研究経費	38,001,089,783	38,974,917,275	39,453,719,167	39,844,058,479	40,110,113,292
管理経費	2,944,942,119	3,077,051,493	3,069,338,462	2,828,395,784	2,867,686,422
(直接医療経費)	(20,352,461,874)	(20,789,616,583)	(20,133,681,085)	(20,550,847,812)	(20,578,719,205)
(減価償却額)	(6,951,723,067)	(6,948,779,338)	(7,078,073,314)	(7,319,083,154)	(7,270,521,597)
借入金等利息	948,645,072	975,815,998	833,144,638	846,236,577	791,693,590
資産処分差額	596,464,615	200,560,661	304,456,425	246,797,156	790,422,182
徴収不能引当金繰入額	121,401,107	17,216,964	48,054,866	102,678,893	86,618,165
消費支出の部合計	81,753,103,700	82,069,200,605	82,626,053,661	83,322,298,439	84,012,741,492
当年度消費支出超過額	6,310,687,045	7,334,051,687	1,538,425,987	2,880,280	6,007,677,181
前年度繰越消費支出超過額	48,400,099,110	54,710,786,155	62,044,837,842	63,583,263,829	63,586,144,109
翌年度繰越消費支出超過額	54,710,786,155	62,044,837,842	63,583,263,829	63,586,144,109	69,593,821,290

## 3. 貸借対照表

(単位:円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資産の部					
固定資産	137,330,320,861	138,346,440,294	138,346,440,294	139,128,497,225	138,593,257,814
有形固定資産	127,073,839,037	125,759,236,363	125,759,236,363	121,994,800,783	121,396,911,915
その他の固定資産	10,256,481,824	12,587,203,931	12,587,203,931	17,133,696,442	17,196,345,899
流動資産	29,920,231,940	34,011,896,990	34,011,896,990	33,960,371,396	35,524,506,304
資産の部合計	167,250,552,801	172,358,337,284	172,358,337,284	173,088,868,621	174,117,764,118
負債の部					
固定負債	43,099,506,228	41,869,602,598	41,869,602,598	40,149,246,057	38,893,767,939
流動負債	7,472,228,772	12,071,300,397	12,071,300,397	11,859,481,716	12,621,600,029
負債の部合計	50,571,735,000	53,940,902,995	53,940,902,995	52,008,727,773	51,515,367,968
基本金の部					
第1-4号基本金	178,723,655,643	181,980,698,118	181,980,698,118	184,666,284,957	192,196,217,440
消費収支差額の部					
翌年度繰越消費支出超過額	62,044,837,842	63,583,263,829	63,583,263,829	63,586,144,109	69,593,821,290
負債・基本金・消費収支差額の部合計	167,250,552,801	172,338,337,284	172,338,337,284	173,088,868,621	174,117,764,118